

2005年12月27日

各位

三井化学株式会社
出光興産株式会社

千葉フェノール(株)の生産能力増強について

三井化学(社長:藤吉建二)及び出光興産(社長:天坊昭彦)は、フェノール事業の強化・拡大を推進して参りました。現在、フェノール、アセトンの主要用途であるビスフェノールA、フェノール樹脂等の市場拡大により、需要が大幅に増加していることから、今般、両社の合併会社である千葉フェノール株式会社の生産能力増強を決定しました。

< 増強計画の概要 >

1. 合併会社:千葉フェノール株式会社(出資比率:三井化学 55%、出光興産 45%)
2. 増強内容:フェノール 3万トン/年増強(20 23万トン/年)
アセトン 2万トン/年増強(6 8万トン/年)
3. 工事内容:既存プラントの改造
4. スケジュール:着工 2006年1月
完工 2006年4月

アジアでのフェノールの用途は、ビスフェノールA向け及びフェノール樹脂向けがそれぞれ45%を占めています。ビスフェノールAは、住宅建設や電子材料分野等で市場が拡大しているポリカーボネート樹脂、塗料や電気・電子部品分野等に広く用いられるエポキシ樹脂の原料です。

また、フェノール樹脂は、自動車のブレーキパッドや強化ガラス等、広い分野に活かされています。

アジアでのアセトンの用途は、主に溶剤用途で約65%を占めています。他にビスフェノールA向けが約20%、ポリメチルメタクリレート樹脂の原料であるメタクリル酸メチル向けが約15%です。

アジアにおいては、住宅建設・電子材料分野向けの需要が旺盛で、フェノール、アセトンともにビスフェノールA、フェノール樹脂及び溶剤等の市場が拡大しており、今後その需要は10%程度の高い伸びが見込まれているため、生産能力増強を決定したものです。

以上

本件に関するお問い合わせ先
三井化学株式会社 IR・広報室
出光興産株式会社 広報室

03-6253-2100
03-3213-3115